

当科外来を定期受診されておられる患者様へ

『慢性腎臓病患者における熊本地震の影響評価と対策に関わる検討』へのご協力をお願い

本邦における慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease; CKD）の患者数は1,300万人を超えるまでに増加しています。本疾患は進行すると透析治療などが必要となるだけでなく、心血管合併症による死亡リスクも増加することがわかっており、早急な対応が望まれています。近年日本では数多くの自然災害が生じていますが、災害は慢性腎臓病の患者さんの診療や病態に大きく影響すると考えられます。しかしこれらの影響に関する詳細な検討は十分に行われていません。本研究は熊本地震発生後に当腎臓内科外来を定期受診された患者様において、震災前後で検査結果を短期的および長期的に比較検討することで、地震による慢性腎臓病への影響を明らかとし、将来的な予防対策を立てるために行うものです。

使用する情報は、通常診療で得られるものであり、地震の前後の患者様のデータを使用しますが、新たに検査を追加したりするものではありません。通常診療から得られた情報を解析し、熊本地震が及ぼした腎疾患病態への影響を、おもに血圧、体重変化、腎機能、蛋白尿、塩分摂取量、避難所生活の有無などを指標として経時的（急性期には週単位、長期的には年単位）に検討します。該当する患者様の現在および未来の診療内容に影響を与えることは全くなく、患者様が不利益を受けることもありません。

本研究では、説明文書を用いて研究内容を説明し、同意を得られた患者様からのデータのみ用います。同意が得られていない患者様のデータを使用することはありません。また同意はいつでも撤回できます。得られたデータは個人を特定できないように匿名化し、その取扱いと保護には十分に配慮いたします。研究成果は学会や論文などで発表を予定していますが、その際に個人の特が可能な情報を公表することは決してありません。なお、この研究は熊本大学大学院生命科学研究部の倫理委員会の承認を得ております。なおこの研究への同意をお断りになった場合でも、将来にわたって当科の診療において不利益を被ることありませんのでご安心ください。この研究に関して不明な点がある場合には、以下にご連絡ください。

連絡先：中山裕史

平日 9時-17時 (腎臓内科医局 096-373-5164)
時間外・土日・祝日 (腎臓内科病棟 096-373-7057)